

Ogata

JAだよりおおがた

3

MARCH
2015 No.500

特集

～JAだよりおおがた創刊500号記念特集～

大潟村と北海道・中札内村 JA青年部地域間交流事業 最終報告 5面



今月号の主な内容

- 2面 表紙紹介・あぐりプラザ情報・フォトニュース
- 4面 営農だより
- 8面 女性部活動だより
- 9面 インフォメーション・理事会報告・青年部活動報告と予定
- 10面 初めてのお誕生日



JA大潟村

表紙のご紹介 『『銀河のちから』 学校給食試食会』

大潟村麦類種子生産組合（菅原和幸組合長）は2月25日、小麦の新品種「銀河のちから」を使用したパンとラーメンの給食試食会を大潟幼稚園・小学校・中学校で行いました。

「いつも食べているパンやラーメンよりもおいしい！」と、子どもたちの評判は上々でした。（関連記事は3ページに掲載）



あぐりプラサ トクトク情報

3月6日(金)～12日(木) ポイント3倍優待券
配布日

3月13日(金) ポイント3倍優待券の
有効日

お知らせ

★3月13日(金)はミスドが来ます！
(ホワイトデーは倍返して♪)



3月19日(木)・20日(金) 今月の特売日
「3月決算セール♪」

お問い合わせは生活課（45-2214）まで。

PhotoNews フォトニュース

パプリカ・インゲン・ニガウリ 野菜栽培講習会

JA営農支援課は1月から2月にかけて野菜の栽培講習会をJA会館で開催し、参加者は栽培や出荷方法などについて学びました。1月29日のパプリカ栽培講習会には9人が参加しました。パプリカ栽培については、周辺で競合する産地がないため、安定した価格を維持しやすいとのことでした。



1月29日に行われたパプリカ栽培講習会の様子

2月12日のジャンボインゲン栽培講習会には13人が参加しました。参加者は、ハウス栽培のジャンボインゲンは温度管理が大切なことなどを確認しました。この日はニガウリ栽培講習会も行われ、11人が参加しました。ニガウリは野菜の中でも比較的栽培しやすい品目と言われています。メディアでもニガウリの効能などが取り上げられており、今後も消費の伸びが期待されます。皆さんもぜひ、これから野菜栽培に挑戦してみませんか。

親身になって相談に乗ります 年金無料相談会

金融課では2月5日、年金の受給を間近に控えた方や現在受給中の方、年金について疑問や不安がある方を対象に無料個別相談会を開きました。

この相談会は、複雑で面倒なイメージの強い年金についての疑問や不安を解消してもらおうと行っています。年金専門の社会保険労務士が一人一人と面談し疑問に答える形になっているため、参加者からは「説明が分かりやすい」、「自分にとって最高のタイミングで相談できた」など毎回好評をいただいています。今回もたくさんの方が年金手帳や年金定期便などを片手に訪れ、じっくりと相談しながら理解を深めていました。



次回は来年2月に開催予定です

安全第一

フォークリフト運転技能講習

J A整備課自動車は2月10日から26日にかけて、出張フォークリフト運転技能講習をJ A畑作物集出荷所で実施しました。

フォークリフトは便利で、慣れると誰でも手軽に運転ができるため、意外と事故を起こしやすい車両です。農作業事故を防止する観点から、フォークリフトを操作するためには、取扱い方法や関係法令などについての学科試験と、安全で迅速に車両操作するための実技試験に合格する必要があります。

2月18日は大型特殊自動車免許を持つていない人を対象にした実技講習と試験を行いました。参加者は緊張しながらも講習の成果を発揮し、全員が試験に合格しました。



安全確認をしっかりと。「前よし、右よし、左よし、後ろよし！」

若妻部総会終了後

自分にやさしく☆ 心も体もセルフケア

若妻部は2月20日の総会終了後、講演会「自分にやさしく☆心も体もセルフケア」に参加し、和気あいあいと楽しみながらリフレッショを図りました。



プチカラーセラピー体験もできました

整体師やバッチフラワーレメディ（1936年に英国のエドワード・バッチ博士によって開発された、心や感情のバランスを取り戻すための自然療法）などの資格を持ち、男鹿市で「リラクゼーションSORA」を開業している夏井敬子氏が、「呼吸筋を使った呼吸方法」や「むくみをとるリンパマッサージ」などの実技と講演を行いました。

※若妻部総会の模様は来月号に掲載します。

小学生を試合観戦へご招待

ノーザンハピネッツ応援企画

J Aは2月21日、プロバスケットチーム「秋田ノーザンハピネッツ」応援企画として、大潟小6年生と同小ミニバススポーツ少年団員を試合観戦に招待し、保護者とJ A役員含め30人が参加しました。これは「次世代との交流」を目的にJ Aが企画したもので、今回で2回目です。

対戦相手は「新潟アルビレックスB B」で、第3Qで58―68と10点差をつけられました。しかし第4Q、残り4分を切り逆転に成功。最終的に82―77で勝利し、会場の秋田県立体育館に集まった2500人の観客が選手たちを称えました。

試合観戦中はハピネッツのスポーツタオルで一生懸命応援していた小学生たち。帰りのバスの中でくじ引き大会では、主力・田口成浩選手のサイン入りグッズ争奪戦を行い盛り上がりました。



新潟にリードを許した第2Q、試合から目が離せません

子どもたちに大好評!

「銀河のちから」パンとラーメン

大潟村麦類種子生産組合は2月25日、小麦の新品種「銀河のちから」を使用したパンとラーメンの給食試食会を大潟幼稚園・小学校・中学校で行いました。

大潟小3年生の教室では、麦類種子生産組合の菅原和幸組合長らが児童と一緒に給食を試食しました。「パンが柔らかくてモチモチしている」「麺はもちりしつ、つるつるとしている」など、いつも食べているパンやラーメンよりもおいしいと子どもたちに大好評でした。



当日の給食。「銀河のちから」を使って男鹿市の(株)八郎めんが作った中華麺(右下)と能代市の(株)山田製パン工場が作ったパン(左下)です

現在村では主力品種として「ネバリゴシ」が生産されていますが、麦類種子生産組合は2年前からパンや中華麺に適した「銀河のちから」を試験栽培していました。今年3月には秋田県の産地品種銘柄に登録される予定です。



鮮やかなチューリップの祭典 「ポルダーリップウェーブ」

花き栽培部会O.F.S.(大潟村フラワーグロウイングセクション)とポルダーリップウェーブ実行委員会は2月13(15日)、村教育委員会と「ポルダーリップウェーブ2015」を干拓博物館で開催。会員が育てた56品種3200本の切り花・鉢植え、村内作家による生け花や押し花などの作品が展示されました。

「ポルダーリップ」は、大潟村産チューリップの愛称で、多品種栽培が特徴です。この催しは、村産チューリップの認知度向上と地域活性化を目的に2004年から行っており、品種の人気投票や栽培ハウス見学ツアーを実施して生産者と消費者との交流を図っています。会場内には秋田公立美術大学生による記念撮影コーナーもあり人気を集めました。14・15日は道の駅で産直まつりが行われ、チューリップ切り花などを買い求める人でにぎわいました。



美大生による展示。作品テーマは「ポルダーリップウェーブ」の「ウェーブ(波)」です

営農 だより

※このコーナーは 隔月で掲載致します。

「ポルダーリップウェーブ2015」チューリップ新品種紹介

チューリップ展示会「ポルダーリップウェーブ2015」。花き栽培部会O.F.S.の皆さんは、毎年さまざまな品種の栽培に挑戦しています。

今回の営農だよりでは、今年初めて村で栽培された「ニューフェイス」の品種をご紹介します。

※紹介文は展示会場に掲示されたものを掲載しました。

アメリカンイーグル

花色：赤・ピンク 花型：フリンジ咲き
赤とピンクの中間色で珍しい色目のチューリップです。



ジョイントデビジョン

花色：橙・黄 花型：フリンジ咲き
はっきりとしてフリンジが特徴的。鮮やかな色彩もあり一際目立つ品種です。



シルバーパーロットデザイン

花色：ピンクと白 花型：パーロット咲き
淡いピンクのグラデーションと葉に入る白いラインが特徴です。



ドラムライン

花色：赤・白 花型：八重咲き
たくさんの花びらが重なり、豪華な雰囲気醸し出します。



メイタイムデザイン

花色：紫 花型：ユリ咲き
優しく光沢のある紫が気品に満ちた気高い雰囲気を醸し出します。



ライオンキング

花色：赤 花型：フリンジ・八重咲き
深い紅赤が魅力、しっかりとした八重咲きに細かいフリルが入ったゴージャスな花姿です。



リアルタイム

花色：橙・黄 花型：八重咲き
豪華なフリンジ咲きはインパクト抜群の花姿で一際人目を引きまします。



イースタンスター

花色：赤紫 原種系品種
口紅のような鮮やかな色彩が特徴。かわいらしい花姿は自然に笑みを誘います。



トルケスタニカ

花色：白・黄 花型：一重咲き 原種系品種
枝咲きでたくさんの花をつけます。可憐な花が風にゆれる様子が楽しめます。



ペルシャンパール

花色：紫・黄 原種系品種
濃い紫と鮮やかな黄色のコントラストが特徴的。



リトルプリンセス

花色：オレンジ・白・黒 原種系品種
オレンジ色の花卉で中心が白く抜け、芯が黒っぽくなるユニークな品種です。



大潟村と 北海道 中札内村

J A青年部地域間交流事業 最終報告



大潟村産の米やもち
米を販売するJ A大
潟村青年部（2009
年、中札内村収穫感
謝祭にて）

J A大潟村とJ A中札
内村の青年部員たち
（2005年、中札内村
収穫感謝祭にて）



2001年から14年間に渡り続いた、J A大潟村青年部と北海道・J A中札内村青年部の地域間交流。稲作と畑作の違いはあっても、大規模専業農家という共通点を持つもの同士、毎年お互いを訪ね合い、お互いに良いところを吸収しながら農業や農政への知識を深め合ってきました。

この交流ですが、「10年間は続けよう」という両青年部の当初の目標を達成し、2014年の交流をもってこの事業を終了することになりました。

ここに14年間の交流の様子を報告いたします。

交流事業が 始まったきっかけ

小林肇組合長がJ A大潟村青年部長に就任した2001年、「地域の青年部と交流してみたい」と思ったことが始まりでした。どの地域の青年部と交流するか考えた小林青年部長は、1989年に参加したアメリカ農業研修で同期だった戸水隆さんがJ A中札内村の青年部長だと知り、声をかけたのです。

その年の夏に、家族で中札内村を訪れた小林部長は戸水さんと話し合い、交流事業ではお互いの地域の特産品を物販することを決めました。そしてJ A中札内村の山本勝博組合長に会って了承をもらい、翌2002年から実質的な交流が始まりました。

中札内村の概要

中札内村は十勝平野の南西部に位置し、村の中央を「日本一の清流・札内川」が流れています。内陸性の気候で初霜は10月上旬、根雪は11月下旬、圃場期間は170日位です。人口約4,000人で農家戸数は約150戸。農地の総面積は7,000haです。



北海道河西郡
中札内村

中札内村の主な 農産物

寒冷地の畑作（小麦・バレイショ・ビート・豆類・ダイコン）と酪農（生乳）、畜産（鶏卵・ブロイラー）が主体です。農作物の中で特にえだ豆に力を入れており、生産・加工・販売までを一貫してJ Aで手掛けています。

交流事業の内容

1. 大潟村の特産品を中札内村で販売

毎年11月に行われる中札内村収穫感謝祭で、J A大潟村青年部はあきたこまちの新米やもち米、パンキンパイなどを販売しました。もち米は特に人気で、「今年も来るのを楽しみにしていた」と、中札内村の人たちに毎年喜ばれました。

2. 中札内村の特産品を大潟村で販売

また、収穫感謝祭での物販と合わせて、J A中札内村青年部員の圃場や格納庫、周辺地域での農機会社などの視察も行い、北海道農業の規模の大きさに感動しました。

毎年11月末に大潟村の道の駅などで、J A中札内村青年部はジャガイモや豆類、でんぷんやきな粉、ハスカップジャムなどを販売しました。

10周年記念事業について

2010年、J A大潟村青年部では「中札内村青年部交流10周年式典・大潟村青年部35周年記念研修」と題し記念行事を実施し、7月7～9日の日程で、J A中札内村青年部との交流を北海道で行いました。

交流10周年の節目を祝つての記念式典を行ったほか、発足から35周年を迎えたJ A大潟村青年部の記念行事として、現地青年部と合同でのビール工場見学や、トラクター博物館見学などを実施しました。



アサヒビール工場見学（2010.7.8）

2010年



両青年部交流10周年記念式典（中札内村にて）

2005年



大潟村農業文化祭で物販交流した両青年部（ルーラル前にて）

両青年部地域間交流

写真で見る 14年

2011年



J A 中札内村山本組合長（写真中央）・現地青年部員と

2006年



秋田に来てくれたJ A 中札内村青年部の皆さん

2001年



小林青年部長と戸水青年部長、この2人から全てが始まりました

2012年



中札内村を訪問した際、現地青年部員の圃場や格納庫なども視察しました

2007年



十勝平野東部に位置する池田町の「池田ワイン城」も視察しました

2002年



大潟村農業文化祭での中札内村産メークイン詰め放題

2013年



中札内村では、毎年大潟村のもち米が人気です

2008年



中札内村の大型機械置き場を視察し、コンバインに試乗してみました

2003年



中札内村を訪問した際、帯広にあるビート製糖所も視察しました

2014年



J A 中札内村青年部員とともに（中札内村にて）

2009年



悪天候の中でもお客様に元気に声掛けし、昼過ぎに完売しました（潟の店にて）

2004年



中札内村収穫感謝祭での一コマ。長縄遊びをしました

今後は青年部の枠をこえ、農家個々の交流になります。関係各所の皆様、ご協力ありがとうございました。なお、中札内村の特産品は、今後も道の駅おおがたで取り扱っております。どうぞご利用くださいますようお願いいたします。

☆これからの行事予定

3月20日(金)
 水稻育苗・野菜栽培講習会
 午前9時～11時30分まで JA会館大会議室
 (2ポイント) どなたでも参加できます。

3月24日(火)
 地域医療・看護・介護等考える会
 午後1時30分～ JA会館小会議室
 (2ポイント) 会・部員自由参加
 参加予定：役場住民生活課、議会、JA、
 社会福祉協議会、地域包括支援センター

★活動報告と各種会議報告

◎はつらつ健康講座③(1月27日)

認知症について(認知症サポーター養成講座)
 講師：認知症キャラバンメイト 児玉美幸先生
 今や「認知症」は国民病ともいわれるほど深刻な問題であり、誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、ひとごとではありません。○早期発見・治療はその後の生活を大きく左右します。「おかしい」と思ったらすぐ受診しましょう。連れて行きましょう。○予防は発生のリスクを少なくします。正しい食生活、運動、そして脳を活性化させる刺激のある生活を行うことが効果的だそうです。○認知症の人が地域での生活を続けてゆくためには、助け手となる「人間杖」がどうしても必要となります。支え合ってゆくためには、誰もが認知症についての知識を持ち、理解することが大切となってきます。

心配な人は包括支援センターに相談してみることをお勧めします。(木村真澄記)

◎秋田地域振興局建設部へ「堤防管理用通路の通行止め解除及び堤防の適正管理を望む要望書」提出(1月28日)

平成24年4月1日より、正面堤防の管理用通路が通行止めになっています。草木が生い茂り舗装上に亀裂が入るなど、このままでは私たちの生命線である堤防の維持管理に心配があるため、要望書を提出することとなりました。婦人会・女性部から4名、対応していただいたのは、部長と課長の2名でした。便利に道路のように使用していましたが、実は道路ではなく管理用通路なので、事故などがおきた場合などに不安があることや、管理に億単位の経費がかかることなど、お話ししました。県では定期的パトロールはしていないとのことで、パトロールした場合、村に連絡して村の広報に載せることをお願いしました。(三村敏子記)

◎冬季ふるさと祭り(2月1日)

多目的広場でふるさと祭りがおこなわれました。前日雪が無かったのですが当日は歩くスキーが出来るくらいの雪があり関係者はほっとしていました。婦人会では餅まきの手伝いをしました。(栢森慶子記)

◎こめ油料理教室(2月4日)

3度目を迎えた、この教室。参加者は21名だった。「米づくりの村」の私たちにとっては、米が形を変えても注目されることはうれしい。

こめ油の大きな特長として、○酸化しにくい(料理されたものと同じく)、○油臭くない、○何度も使える、

○コレステロールを下げる、が挙げられる。1年前から、こめ油に変えたらコレステロールの数値が改善したという参加者もいた。他地域の教室でも、同じような声があったという。おいしく食べて健康になれるのだから一人でも多くの人に試してもらいたい。

今回のメニューは4種だった。特に簡単でおいしいと思ったのは、エコープ国産米粉入りホットケーキミックスを使ったリングの1口ドーナツ。このミックス粉と細切りにしたリングが肝心。混ぜて1口大を揚げるだけだが、外側のカリカリ感と内側のかすかなリングの風味と食感のするモチモチ感が絶妙。

毎日の食事づくりにこめ油を工夫して使い、その違いを実感してほしい。あぐりプラザで買うことができる。コレステロールが気になる方には、ぜひこめ油に変えて、使い続けてほしい。(浅沼トク子記)

◎健康推進委員会(2月4日)

保健センターで、秋田市にある鈴木クリニックの鈴木裕之医院長を講師に講演会を行いました。演題は『たばこ愛の問題について』。たばこを吸っている人は吸わない人に比べると平均で寿命が10年短くなりますが、何歳になってもやめた時から、寿命は変わることや、ベランダで吸っても子供の体内に入るニコチンは2倍、ましてや同じ室内では15倍もの影響がある。妻は1.91倍肺がんになる。「禁煙は愛」つまり、自分への愛であり家族への愛であり、周りへの愛であり、社会への愛であるとお話しされました。(栢森慶子記)

◎秋田県JA女性組合員大会～JA女性参画推進セミナー～(2月6日)

JAビルで開催されました。JA運営への女性参画についての情勢報告がありその後、JA秋田おぼこ常務理事大友忠氏による「JA女性組織再編成対策 女性パワーをJAへ結集!!」の講演では、広域合併後女性部活動を置き去りにしたこと、女性の力が必要と言っているが、いざとなると手のひらを返してしまう。その結果活動の低迷、部員減少となった。男主体の所は元気が無く衰退していく。やはり女性のもつ繊細な感覚が見直されてきている。女性の力を必要としてのお話でした。午後の講演ではJA八戸監事 佐野房氏による「農業ほど男女差のない職業はない」のお話では田子町農協時代にニンニクを全国一の生産地にしたことや内圧、外圧で眠れない日が続いたこと、それを乗り越えられたのは圧力があつたからだ逆境を力に変えてきたこと。トマト4kg1箱4,000円での値が市場でついた時、農業ほど男女差のない職業はないと、また農業経営、農協経営においてもそう思う。

今70歳、これからも本格的に農業がんばりますよ。とのお話に氏の思いが伝わってきた。(栢森慶子記)

◎村民・議員との懇談会(2月6日)

さまざまな要望・意見が出されました。時間が足りないほどでした。婦人会(女性部)での地域医療の勉強に議員の方々もお誘いしました。(鈴木富士子記)

◎不用衣類回収(2月13日)

当日は朝から荒れ模様の天気で皆さんが足を運んでくれるのか心配しましたが、たくさんの方々を持ち寄っていただき本当にありがとうございました。

今年は回収を村民にもっと知ってもらい、量を増やすために役員から会員に呼びかけてもらい、効果は絶大で合計39人、328kg集まりました。回収衣類は裁断してウエスに再生し、秋田市内の事業所に納品されます。可燃ゴミの減量化につながり、人の役に立つこの事業をずっと続けていきたいです。(小松ひとみ記)

JA自動車共済契約の確認(お願い)

ご家族の方で運転免許を新たに取得された方はいらっしゃいませんか？

ご契約いただいている自動車共済の運転者年齢制限をご確認ください。

年齢制限特約の対象にならない方が運転中に事故を起こした場合は、共済金のお支払対象となりませんのでご注意ください。

上記の対象者につきましては「年齢を問わず保障」などの保障内容に変更が必要となりますので、ご確認のうえ共済課へ相談くださいますようお願い申し上げます。



お問い合わせは共済課 (TEL 45-3017) まで

青年部 活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひJA大潟村営農支援課 (TEL: 45-3033) までご連絡ください！

活動報告

- 2月1日 ふるさと祭り手伝い
- 2月6日・16日 青年組織合同学習会
- 2月26日 総会



青年組織合同学習会 (2月16日)

活動予定

未定

JA大潟村の概況 27年2月末現在

貯金	257億6,751万円
貸出金	102億9,965万円
出資金	9億255万円
正組合員数	1,132名
准組合員数	36名



理事会報告

2月25日開催

報告事項

- ・業務報告 (1月末事業実績等)
- ・コンプライアンス委員会報告
- ・平成26年度第3四半期「連続職場離脱」に関する定期報告について
- ・平成26年度第3四半期「相談・苦情等対応」に関する定期報告について
- ・平成26年度第3四半期「自主検査報告」に関する定期報告について
- ・平成26年度第3四半期「全般統制・不祥事未然防止行動計画」に関する定期報告について
- ・ALM委員会要領の一部改正について
- ・農家経営改善対策委員会設置要領の一部改正について
- ・内部監査報告について

議案

- 第74号 平成27年度内部監査計画について
- 第75号 人事育成基本方針・規程・要領の設定について
- 第76号 事業継続計画 (BCP) 策定に向けた基本方針・要領の設定について
- 第77号 購買事業利用高に対する還元について
- 第78号 座談会の開催について
- 第79号 貸付金について

協議事項

- ・平成27年度事業計画 (案) について

—五城目警察署からのお知らせ—

雪どけ時の交通事故防止

- * スピードを抑えた運転を！
- * 路面凍結に注意！
- * 思いやり運転を！



路面状況の変化や歩行者等の動きに注意して、事故のない安全で安心な生活を送りましょう。

五城目警察署 TEL 018-852-4100

No.202

初めての
お誕生日おめでとう!!



金子 ^{きょうか} 響佳ちゃん

日に日に歩くのが上手になる響佳。
絵本を見たり、ペンを持ったりとお兄
ちゃんの真似が大好き。
まだまだお兄ちゃんのようにはいかな
いけど、一緒に遊べる日が待ち遠しいね。
家族みんなこれからの成長も楽しみに
しています。



大塚 ^{じょうや} 穰也ちゃん

追いかけてっ大好き！
絵本読むのも、音に合わせて手遊びす
るのも好きだよ。
でもね、食べるのが一番好き！ご飯は
いつも完食するんだ♪
これからもっともっと大きくなって、
お友達もいっぱい作るんだ！
僕の事よろしくね☆

このコーナーに掲載希望の方はご連絡お待ちしております。TEL 45-2211 広報担当

日本政策金融公庫からのお知らせ

アグリフード EXPO
東京 2015

プロ農業者たちの
国産農産物・展示商談会

日時 8月18日(火)/19日(水)
10:00~17:00 10:00~16:00

主催 JFC 日本政策金融公庫

会場 東京ビッグサイト西1・2ホール



「農と食をつなぐ」アグリフードEXPO東京は第10回目の節目を迎えることから、過去最大規模
で開催いたします。

出展についてご興味のある方、制度資金についてご相談のある方は、秋田支店農林水産事業
(TEL: 018-833-8249 担当: 村上) までご連絡ください。